

【場と座】

「場」とは、体育館やイベントホールなど、単に物事を行う空間のことです。それに対して日本文化における「座」は、空間だけでなく、そこに流れる時間とそこに集う人間が関与して成立する言葉です。しかし、そこに集う人々が目的も意図もなく、そこにたまたまいただけという状態では、「烏合の衆」に過ぎません。同一の目的をもった上で、同じ空間をその目的達成のために費やす人々が集う場こそが「座」となるのです。

さて、近々ある「座」は卒業式です。卒業式まで3週間を切りました。3年生にとっては最後の授業としての役割もっており、保護者、先生方、在校生、来賓の皆様にとっては、新たな門出を祝う目的があります。この目的を達成するためにも、残り3週間で心を整え、落ち着いた雰囲気を学校中に漂わせ、卒業式に臨みましょう。それができると、最高の「座」となるでしょう！
烏合の衆⇒鳥の群れのように統一も規律もなく寄り集まった群衆、または軍勢のこと



春一番

春一番という言葉は「春一」が語源です。「春一」のいわれは諸説ありますが、長崎県郷ノ浦町で1859年の旧暦2月13日に長崎県五島沖に出漁した漁師53人が、春の強い突風にあい全員遭難しました。このときから郷ノ浦では、初春の強い風を「春一」または「春一番」と呼ぶようになったといわれ、いまでは町内の岬に「春一番の塔」が建てられています。

先日、19日(火)に九州北部で「春一番」が吹いたというニュースがありました。春一番が吹くともうすぐ春ですね。



PTA生活部の活動が終了！ありがとうございました。

2月15日(金)第3回PTA生活部会が行われました。1年間の活動として、夏祭りや六月燈の補導、2学期末テスト中の下校指導、生活部だより等の発行を行いました。生活部員の皆さん、1年間ご協力ありがとうございました。今後とも、紫中生の登下校の様子、あいさつの状況等、気になることがあれば連絡いただければと思います。来年度もよりよい活動ができることに期待します。



最近のこと

- 18日(月)紫原サポート会が開催されました。広木小学校区の方から、「中学生のあいさつが素晴らしい。」とお褒めの言葉をいただきました。嬉しいです！
- 最近、校内の物が壊れることが3件ありました。うち2件は、誰が壊したか分かりませんでした。(後の調査で分かりましたが・・・)「しまった」と思ったら、素直にごめんなさいを言ってほしいですね。心のコップを上向きに！